

# 帯活動(「コミュニケーションタイム」)

## 「即興的なやりとり」を目指して

- 目 ○相手の言っていることを「理解しよう」という気持ちで聞こう。  
 標 ○自分の考えや気持ちを「伝えよう」という気持ちで話そう。

- この活動で「どんな力を身につけたいか」、ゴールを生徒と共有することが大切である。
- 活動ごと、活動期（Ⅰ期～Ⅵ期）ごと、あるいは二つの活動ごとに振り返りを行う。
- 一つの活動は3～4回継続するのが妥当と思われるが、生徒の状況や指導の工夫により、5～6回継続することも考えられる。
- これらの活動は、指導の工夫により例にあげている活動期とは別の時期に取り組むことも可能である。生徒の実態により、負荷をかけたり軽減したりするとよい。

### 1【コミュニケーション基礎育成期】

〈付けたい力〉○ゆっくり、はっきりと話される英語を聞いて具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。

○自分の考えや気持ち等を相手に伝えるために、単語や文、ジェスチャーを活用して話すことができる。

〈身に付けたい「話すこと」の態度・技能〉

◆活動は Hello. に始まり、Thank you. / See you. で終わる。

◆アイコンタクト ◆スマイル ◆相手に伝わる適切な音量

☆基礎育成期なので、コミュニケーション活動や言語活動では、「相手意識」をもたせたい。

◇反応 (Uh-huh. / Yes. / Yeah. / Is that so? など)

☆興味をもって聞いていることを相手に示す。

◇オウム返し (A: I can play the piano. B: Oh, you can play the piano.)

☆相手の言っていることを確認したり、聞いていることを相手に示す。

◇プラス1文 (A: Do you like sports? B: Yes, I do. I like soccer. など)

☆話を続けようとする態度を養う。

### 2【コミュニケーション継続育成期】

〈付けたい力〉○意味が十分理解できない場合に、聞き返したり適切な質問をすることができる。

○つなぎ言葉やあいづちを使うなど、いろいろな工夫をして話し続けることができる。

#### 参考文献

道面和枝(2009)：中2で楽しく会話が続く！「2分間チャット」指導の基礎基本，明治図書

本多敏幸(2003)：到達目標に向けての指導と評価，教育出版

本多敏幸(2009)：英語力がぐんぐん伸びる！コミュニケーション・タイム 13の帯活動&ワークシート，明治図書

〈身に付けたい「話すこと」の態度・技能〉

◆表情 ☆喜怒哀楽を顔の表情で表す。

◇フィラー ( Well. / Um.. / Let me see. / Er.. など)

☆単語や表現が思いつかなかったとき。

◇あいづち

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| ① Uh-huh. / Yeah. / Is that so? など          | ☆興味をもって聞いていることを相手に示す。 |
| ② All right. / Sure. / No problem. など       | ☆許可、了解を示す。            |
| ③ Oh, I see. / I get it. / I understand. など | ☆自分が理解していることを相手に伝える。  |
| ④ That's right. / You're right. など          | ☆相手の理解が正しいことを伝える。     |
| ⑤ Oh, yes. / I think so, too. / Me, too. など | ☆賛成、同意を伝える。           |
| ⑥ I disagree. / I didn't think so.          | ☆反対であることを伝える。         |
| ⑦ That's nice. / Cool! / How exciting. など   | ☆喜びや感動を表す。            |
| ⑧ Really? / Wow! / No kidding. など           | ☆おどろきや意外性を表す。         |
| ⑨ That's too bad. / That's a shame. など      | ☆悲しさに対する同情、残念な気持ちを表す。 |

◇確認 ( Pardon? / Sorry? / I don't understand. など)

☆相手が言ったことが聞き取れなかったり理解できなかったときは、確認するために聞き返す。

### 3【コミュニケーション発展期】

〈付けたい力〉 ○相手の話を聞いて、「さらに質問すること」ができる。

○質問されたことに対して、情報を加えながら、即興的に「やりとり」ができる。

〈身に付けたい「話すこと」の態度・技能〉

◆活動は Hello. に始まり、Thank you. / See you. で終わる。

◆アイコンタクト ◆スマイル ◆相手に伝わる適切な音量 ◆表情

◇プラス質問 (相手が言ったことに対して、When? / Where? / Who with? など)

☆内容を深めたり、相手の話に興味をもって聞いていることを示す。

◇説明／言い替え／理由

☆理由を述べたり、具体例を述べたりする。

◇ジェスチャー／ボディランゲージ

☆言いたい単語や表現が出てこないとき。

◇自分の感情や感想

(It was great. / It was fun. / I was excited. / The food was delicious. など)

☆自分の経験について感情や感想を付け加える。

◇話題の転換 (By the way ～. / Anyway ～. / Well.. など)

☆どうしても話題が尽きてしまったとき。

#### 参考文献

道面和枝(2009)：中2で楽しく会話が続く！「2分間チャット」指導の基礎基本，明治図書

本多敏幸(2003)：到達目標に向けての指導と評価，教育出版

本多敏幸(2009)：英語力がぐんぐん伸びる！コミュニケーション・タイム 13 の帯活動&ワークシート，明治図書

# 『コミュニケーションタイム』で身につけたい態度やあいづち表現集【中1】

- コミュニケーションは「相手」がいて初めて成立します。
- 「相手」を大切に、活動を楽しみましょう。
- 活動は **Hello.** に始まり、**Thank you.** で終わります。
- アイコンタクト、スマイル、ボリューム はコミュニケーションの基本です。

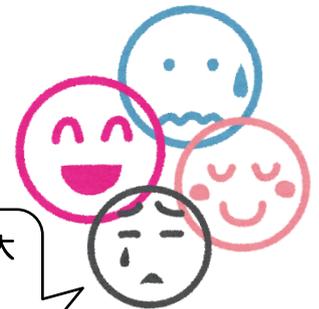


## 【反応】

興味を持って聞いていることを相手に示そう！  
Uh-huh. / Yes. / Yeah. / Is that so?

## 【オウム返し(エコー)】

相手の言っていることを確認したり、聞いているという態度を相手に示そう！  
A: I like "Hey! Say! Jump!" B: Oh, you like "Hey! Say! Jump."



コミュニケーションには、表情はとても大事です。happyな時はハッピーフェイスで、sadな時は悲しい表情で！

## 【フィラー】

言いたいことはあるのに、単語や表現がすぐに思いつかないときは・・・  
Well. / Um.. / Let me see. / Er.. でつなごう。

## 【あいづち】

相手の話を無言で聞くのではなく、「聞いているよ」という気持ちを態度や言葉で伝えよう！

1	Uh-huh. / Yeah. / Is that so?	興味をもって聞いていることを相手に示す。
2	All right. / Sure. / No problem.	許可、了解を示す。
3	Oh, I see. / I get it. / I understand.	自分が理解していることを相手に伝える。
4	That's right. / You're right.	相手の理解が正しいことを伝える。
5	Oh, yes. / I think so, too. / Me, too.	賛成であること、同意であることを伝える。
6	I disagree. / I don't think so.	反対であることを伝える。
7	That's nice. / Cool! / How exciting.	喜びや感動を表す。
8	Really? / Wow! / No kidding.	おどろきや意外性を表す。
9	That's too bad. / That's a shame.	悲しさに対する同情、残念な気持ちを表す。

## 【確認】

相手が言ったことを聞き取れなかったり、理解できなかったときは、確認するために聞き返そう！  
Pardon? / Sorry? / I don't understand.

## 【感情や感想】

自分の経験したことについて感想を言おう！  
It was great! / It was fun! / I was excited! /  
The food was delicious!

## 【ジェスチャー／ボディランゲージ】

言葉ではうまく伝えられないときに使おう！